四国支部

活動報告(7～9月)

1.新居浜地区支部 安全衛生月間行事打合せ会

開催日時：平成29年8月18日(金) 13:00～

開催場所：ユアーズ

議 題 等：安全衛生月間行事内容について　他

2.高知地区船員労働安全衛生協議会

開催日時：平成29年8月22日(火) 13:00～

開催場所：高知港湾合同庁舎 2階 第二会議室

議 題 等：平成29年度事業計画及び収支予算について　他

3.高知地区支部総代会

開催日時：平成29年8月22日(火) 14:00～

開催場所：高知港湾合同庁舎 2階 第二会議室

議 題 等：平成29年度事業計画及び収支予算について　他

4.香川地区安全衛生協議会総会

開催日時：平成29年8月24日(木) 13:30～

開催場所：四国運輸局朝日町庁舎 2階会議室

議 題 等：平成29年度事業計画及び収支予算について　他

5.四国船員災害防止連絡会議（参加）

開催日時：平成29年8月24日（木） 14:45～

開催場所：四国運輸局朝日町庁舎 2階会議室

議 題 等：平成29年度(第61回)船員労働安全衛生月間行事について　他

6.松山地区支部総代会

開催日時：平成29年8月24日（木） 13:30～

開催場所：松山観光港ターミナル2階研修室

議 題 等：平成29年度事業計画及び収支予算について　他

7.宇和島地区支部総代会

開催日時：平成29年8月25日(金) 11:00～

開催場所：宇和島港湾合同庁舎 2階会議室

議題等：平成29年度事業計画及び平成29年度予算について　他

8.第 49 回船員災害防止大会

開催日時：平成 29 年 9 月 5 日(火) 10:15 ~

開催場所：高松センタービル 12 階大会議室

内　　容：船員安全推進賞、船員労働災害防止優良事業者、優良会員認定書　伝達

講演会：メンタルヘルスラインケア研修

~心身ともに健康で生き生きと働ける環境づくりを目指して~

講師：ＳＯＭＰＯ リスケアマネジメント株式会社　橘 奈緒美　臨床心理士

9.松山地区支部安全衛生講習会

開催日時：平成 29 年 9 月 20 日(水) 13:30 ~

開催場所：今治地域地場産業振興センター 2 階 中会議室

内　　容：内航船の P&I 事故 ~乗組員事故を減らすには~

講師：日本船主責任相互保険組合　岡田 卓三

10.生存対策講習会

開催日時：平成 29 年 9 月 22 日(金) 9:00 ~

開催場所：国立波方海上技術短期大学校　技業棟 3 階甲板技業室

波方漁港

活動予定(10 ~ 12 月)

〔香川地区〕

1.安全衛生講習会

開催日時：平成 29 年 12 月

開催場所：未定

〔新居浜地区〕

1.新居浜地区 年末年始安全対策等打合せ

開催日時：平成 29 年 12 月

開催場所：新居浜市

〔高知地区〕

1.漁船安全衛生講習会

開催日時：平成 29 年 12 月 ~ 平成 30 年 1 月頃

開催場所：未定

四国支部

生存対策訓練講習会

～遭難時生き抜くために～




今治市波方町で開催した「生存対策講習会」は“雨一時曇”の生憎の天候にもかかわらず、会場である国立波方海上技術短期大学校・波方漁港には、松山地区支部の会員・所属船員、波方海技短大の学生等130余名が参加して、開催されました。


清水業務部長


眞鍋所長

海技短大の甲板技業室での講習に先立って、協会から清水業務部長、また、地元運輸局からは今治海事事務所　眞鍋「所長の挨拶に続いて、長谷川安全管理士による講演「遭難時、生き抜くための心得」及びDVDビデオ「漂流から生還へ」を上映し、熱心に受講していました。



殊に、講演では実例・数字・グラフを活用した内容に加えて、「STCW条約に定める基本訓練-個々の生存技術」については特に身を乗り出すように耳を傾けていらっしゃいました。

“少雨決行”ということで、会場を波方漁港に移しての実技では、関根技術講師から「救命いかだの取扱」、「落下傘信号・信号紅炎等の取扱」について、長谷川管理士から「イマーションスーツ」については、使用の際の注意、効果的な使用方法など現物を使っての説明に真剣に聞き入っていました。 とくに、信号紅炎の強い光と高温度になる炎、落下傘付信号の発射手順、打ち上がる高さ・光の強さなどは貴重な経験になったことと思います。

イマーションスーツを着ることになった学生さんを見ていますと、最初のうち戸惑いながらも長谷川管理士の指導を受けながら、約3分でスムーズに着用しており、慣れると基準通りの短時間で着ることができそうです。参加した会員さんにも関心が高く、写真を撮っていらっしゃる方も見られました。

また、参加されたかたから「どんな天候でも「落下傘付信号」は、はっきり見える！」との感想が聞かれました。

受講して頂いた会員・同所属船員さんをはじめ、海技短大の学生さんの航海の安全と安全衛生の一層の推進、そして、本講習が「大切な知識」となりますように心から願いながら、会場をあとにしました。

終わりになりましたが、遠路お越し頂いた清水部長、長谷川管理士、関根講師、会場の準備等に御協力を頂いた松山地区支部・海技短大の先生方、今治海事事務所、尾道市からお越し頂いたSSの金田商事(株)様、地元漁協の皆様に誌面を借りましてお礼申し上げます。

＊使用しました写真のうち、一部は「国立波方海上技術短期大学校」の教官に御提供頂きました。

四国支部事務局　岡部年雄



救命いかだへの乗り込み



救命筏を陸揚げして…



信号紅炎



落下傘付信号